

- 1 開催日時 令和6年3月4日（月）10：30～12：00
- 2 開催場所 長崎職業能力開発促進センター本館3階 多目的教室
- 3 議題

(1) 離職者訓練

令和5年度、令和6年度実施計画及び実施状況

(2) 在職者訓練、職業訓練指導員派遣及び施設設備貸与

令和5年度、令和6年度実施計画及び実施状況

(3) 生産性向上支援訓練

令和5年度、令和6年度実施計画及び実施状況

(4) 求職者支援訓練

令和5年度、令和6年度実施計画及び実施状況

(5) 訓練計画専門部会報告

(6) 佐世保訓練センター部会報告

(7) その他

4 議事経過

長崎県の雇用失業情勢について報告を受けた後、事務局から資料に沿って説明、質疑応答が行われた。主な意見は次のとおり。

(離職者訓練)

- ・離職者訓練の定員充足率の向上に係る取組として、佐世保訓練センターが作成した溶接関係の女性受講者のインタビュー動画について、動画内で佐世保訓練センターの名称が出ているところを編集し、インタビューのところのみにして、長崎職業能力開発促進センターでも活用してはどうか。
- ・設定している定員充足率の目標値が達成されないということは、ある意味で経済活動が活発化しているということの裏返しであり、必ずしも定員充足率が達成されなかったことが本県経済にとってマイナスということではないという認識を持っている。
- ・ポリテクが抱えている課題として定員充足率があるが、出口戦略をいかにして行くか、訓練を受講したことが正しく評価され、就職につながるかが大切。ミスマッチの解消のためには、マッチング機能をいかに高め、最大化していくかということが課題である。
- ・ポリテク長崎の離職者訓練のパンフレットに記載している『再就職への近道』というキャッチフレーズが、受講者だけでなく、採用する企業側にとっても、共通の認識、物差になれば、おのずと様々な課題の解決につながると考えるため、企業を含めた認知度向上にも取り組んでいただきたい。
- ・訓練の受講によりきっかけをつかんだ訓練生のモチベーションを高めていく仕組みが大切。また、訓練受講の中で、その職種及び業種のことを理解できる取組を続けていただきたい。

(在職者訓練)

- ・在職者訓練で、一定期間職員を研修に出すときに、研修受講者が不在となり人材不足となるが、従業員に研修を受講させスキルを上げることが、今後の会社にとって中長期的にプラスであると理解してもらう必要がある。

(その他)

・若者が長崎に定着し、中小・小規模事業所等に就職してもらえるよう、県内高校への出前講座等官民連携の取組を進めていただきたい。

◎ 令和5年度長崎県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会委員名簿

区 分	氏 名	所 属 及 び 職 名
学識経験者（2名）	深浦 厚之（会長）	長崎大学経済学部教授
	水谷 伸生	一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会 副会長
労働者代表（1名）	岩永 洋一	日本労働組合総連合会長崎県連合会事務局長
中小企業等代表（4名）	松永 安市	長崎商工会議所 専務理事
	宮崎 浩善	長崎県商工会連合会 専務理事
	岩崎 直紀	長崎県中小企業団体中央会 専務理事
	峯下 隆久	長崎県経営者協会 専務理事
行政機関（4名）	山田 敏之	長崎労働局職業安定部 部長
	川口 晋治	長崎県産業労働部 雇用労働政策課長
	樋口 豊和	諫早市経済交流部 企業誘致課長
	大庭 茂雄	長崎県職業能力開発協会 専務理事
訓練計画専門部会代表（1名）	堀口 和弘	長崎労働局職業安定部 訓練課長